

外来診療予定表 (10月)

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合診療部 (内科・外科 内視鏡等)	午前	塩田総院長 (外科)	大野(外科) 第2.3.4.5	大野(外科)	鈴木(外科)	佐久間(外科)	赤松(内科) 第1.3 新野(内科) 第2.4 ※午後休診※
	午後	白銀(外科) 初診受付16:00まで	—		—	伏見(外科) 初診受付16:00まで	—
	午前	—	井上部長 (呼吸器内科・内科) (予約制)	井上部長 (呼吸器内科・内科) (予約制)	松谷(内科) 初診受付16:00まで	—	大木 (肝臓内科・内科) 第1.4
	午後	高柳 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで	外松(内科) 初診受付15:30まで 受付16:00まで	★土屋 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで		—	
	午前	—	青木(外科) (予約制)	大橋内科部長 (糖尿病教育入院) 外来 (予約制)(要紹介状)	—	—	—
	午後	—	青木(外科) 受付16:00まで	—	—	—	—
脳神経外科	午前	足立	—	平井 第1.3	—	青柳院長	平井 第1.2.3
	午後	佐藤 足立 初診受付16:00まで	—	平井 第1.3 (予約制)	青柳院長 (要問合せ) 診療15:00から	青柳院長 髄膜腫・ 神経鞘腫外来	—
整形外科	午前	塩田副院長	塩田副院長 第2 石井	塩田副院長	塩田副院長	塩田副院長 第3 石井 第1.2.4	塩田副院長 第2.4 石井 第1.3.4
	午後	—		石井		塩田副院長 第3 (脊椎・脊髄外科外来) 石井 第1.4	—
	午前	—	松林 第1.2.3	—	立岩 第1 ★大見 第3	金城	山田 第3 蔵本 第2.4
	午後	—	松林 第2 初診受付16:00まで	—	—	金城 第1.4 初診受付16:00まで 金子 第3(予約制)	—
循環器内科	午前	中津センター長 第1.3.4	大橋	増田	高木 第1.2.4 増田 第3	中津センター長 第1.3.4	大橋 第1 高木 第2 中津センター長 第3 増田 第4 ※午後休診※
	午後	高木 (予約制)	—	—	—	大橋 (予約制)	—
	午前	※予約外の患者様は、担当医師が変更になる場合があります。					
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第1.2.4	千葉大(交代制) 第1.2.4	遠藤名誉院長
	午後		—	遠藤名誉院長 診療14:30から		—	—
サイバーナイフ 外来	午前	—	—	宇野	—	—	—
午後	—	—	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	平田	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	—	小谷 初診受付16:00まで	—	★スミス 第1.3	★細萱 第2.3.4 初診受付16:00まで	帝京大(交代制)
	午後	—		—	★スミス 第1.3 原田 第2.4 初診受付16:00まで		—
泌尿器科	午前	—	—	—	飯ヶ谷 初診受付16:00まで	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	河原 受付14:30から	—	—	—	—

★印は女性の医師です。◎赤字は変更となった診療です。◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。

受付時間:(月~金)8:30~11:30/13:30~16:30 (土)8:30~11:30

予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月~金)8:30~17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。



塩田記念病院だより

Vol.51 2017年10月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ: <http://www.s-fmc.jp>
〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

病気の豆知識~手術室の過ごし方(手術室の専門職)~

元々、我国では外科医が自分で麻酔を行っていました(自科麻酔)。戦後、アメリカに視察留学した外科医たちが、手術と麻酔(生体管理)の完全分業によって、驚異的な手術成功率がもたらされていることに感銘を受けて、1954年(昭和29年)に日本麻酔学会を作ったといわれています。当初、麻酔科を見下す外科の重鎮が多く、麻酔科医たちは苦勞したと聞いています。私の世代でも、若手麻酔科医が、老獪(ろうかい)な外科医たちを相手に奮戦することが日常でしたので、麻酔科草創期の苦勞は計り知れない程だったでしょう。大学病院の教授が絶対的な権限を持つ、いわゆる「白い巨塔」の時代ですから・・・。

一方、戦後間もない頃は、心電図も、自動血圧計も、血中酸素を予測する機器も無く、手術をしながら生体管理をするのは至難の業だったと思います。さらに、当時の麻酔薬は扱いづらい代物(利かない、覚めない、危ない)で、外科医たちの孤軍奮闘ぶりと、危険な状況にある患者の姿が目には浮かびます。

現代では、手術を滞りなく、より安全に遂行するために、麻酔科以外にも、多くの専門職が出来ました。例えば、塩田記念病院では、麻酔器、呼吸器、顕微鏡などを点検・整備する専門職(臨床工学技士)が活躍しています。他にも、専属看護師、薬剤師、放射線技師、手術器具の滅菌管理者、事務総括者など、多くの専門職の連携によって、安全な手術室運用が図られています。



麻酔科 部長
中村 京一

病院からのお知らせ

■糖尿病教育入院開始のお知らせ

10月4日(水)より糖尿病教育入院を開始します。糖尿病教育入院とは、糖尿病について深く理解して頂くために、約1週間食事・運動指導を行っていく入院です。入院される前には「糖尿病教育入院外来」を受診していただく必要があります。また受診の際は、紹介状が必要になります。詳しくは予約センターまでお問い合わせ下さい。

【診療日】毎週水曜日 午前(予約制) 【担当医】大橋内科部長

■総合診療部・婦人科からのお知らせ

10月より総合診療部 鈴木医師と婦人科 千葉大医師(交代制)の診療日が変更となりました。詳しくは、裏面外来診療予定表をご確認ください。

■医療公開講座のお知らせ

【演 題】脳神経外科 医師 平井 作京

「急性期脳梗塞に対する血管内治療」

循環器内科 内科部長 大橋 潤一

「大丈夫!?意外に多い脳梗塞の原因となる心房細動、
当院での植え込み型心電計を用いた最新の検出方法。」

リハビリテーション科 作業療法士 沢本 翔太

「脳梗塞における評価と体操」

【特設コーナー】頸動脈エコー無料検査(抽選8名 抽選・検査時間:14:30~14:50)

【日時・会場】平成29年10月21日(土)15:00~(受付開始:14:30)、塩田記念病院 1階ロビー

【申込・問い合わせ】0475-35-0031 9:00~17:00(日・祝を除く)

申込制
参加無料

栄養士のひとりごと

日増しに秋も深まり、銀杏の葉も黄金色に輝く季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。秋といえば各地域で秋の収穫に感謝する例大祭が行われる季節。今回は千葉県が誇る秋の恵み、落花生についてお話しします。

落花生は、千葉県が生産量日本一を誇る生産物です。2016年では全国で155トン中の79.4%を占める123トンが生産されました。2位は17トンの茨城県ですから、いかに千葉県が多くを生産していることがわかりますね。

落花生は南米原産のマメ科ラッカセイ族の一年草です。東アジアを經由し、江戸時代に日本に持ち込まれたといわれています。南京豆ともよばれており、日本ではサヤのままのものを落花生や南京豆と呼び、サヤの中の実のみをピーナツと呼ぶ傾向にあるようです。日本で最初に栽培されたのは神奈川県の大磯町で、明治時代に神奈川県に視察に行った際に持ち帰ってから栽培が始まったとのこと。

現在日本において落花生の育種研究施設は千葉県の農業総合研究センター育種研究所しかなく、品種登録されている落花生のすべてがここで生み出されているとのこと。つまり全国の落花生はみな千葉生まれ！なんです。

主な品種は「千葉半立」「ナカテユタカ」「郷の香」「ふくまさり」「おおまさり」で「千葉半立」は最も栽培されている品種です。一番新しいのが「おおまさり」です。煎った方がおいしいのが「千葉半立」や「ナカテユタカ」茹でたほうがおいしいのは「郷の香」や「おおまさり」とのこと、調理法に合わせて選んだり、品種に注目して食べ比べるのもいいかもしれませんね。

この落花生、旬は9月下旬から10月にかけて、国産量は少ないので希少性は高く、国産の新物は10月となります。

では落花生の栄養価についてご説明します。落花生には動脈硬化に効果が期待できるビタミンE、疲労回復に効果を発揮するビタミンB1、皮膚に潤いを与えるとされるビタミンB2、肝臓内にて代謝を助け、また二日酔い予防も期待できるナイアシン、そして現在注目の不飽和脂肪酸であるオレイン酸とリノール酸が多く含まれます。これら油は体内で作ることができない必須脂肪酸です。動脈硬化予防が期待できる油脂です。他にもカルシウム、マグネシウム、味覚に作用する亜鉛なども含みます。ただし、油脂を多く含む食品で100gあたり585kcalもあります。食べる量には十分注意が必要です。まずは動脈硬化予防には適正体重の維持も大切なので、健康効果が期待できるからと言ってたくさん食べてもよいわけではありません。摂取量などご不明な点は当院管理栄養士にお尋ねください。

最後に産地ならではの落花生料理について。旬の千葉県の味として、落花生おこわや落花生味噌などが多く紹介されています。生の落花生を手に入れられる生産地だからこそ味わえる旬の料理といえるのではないのでしょうか。調理の際はぜひ渋皮付で。赤茶色の渋皮は抗酸化作用が高いポリフェノールが含まれています。食べる量には十分気を付けて、全国生産1位の千葉県産落花生をお楽しみください。

今回はもう山の木々が鮮やかに彩る季節です。次回もお楽しみに。

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華



参考資料：ちば県民だより9月号 <http://www.pref.chiba.lg.jp>
旬の野菜百科 <http://foodslink.jp>
一般財団法人 全国落花生協会 <http://www.jp/or.jp>

患者さまへお願い

健康保険証および各種受給者証などに変更が生じましたら、その都度、新しい保険証を添えて、1階医事課窓口までお知らせください。また、**ご住所やお電話（携帯）番号**などに**変更**がございました時にも、必ず**お申し出**ください。

※国民健康保険や後期高齢者医療の被保険者、子ども医療費助成制度の対象となるお子さまが受診される場合、医事課窓口 には、8月からの新しい保険証等をご提示くださいますようお願いいたします。

認定看護師～臨床輸血看護師～について

今年の猛暑では熱中症・脱水など体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？季節も変わり過ぎやすくなりましたが、日中と朝晩の気温差が大きいいため体調管理にはまだ、気を付けたいものです。

8月号で掲載いたしました認定看護師を紹介させていただきます。認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師をさします。

認定看護師になるためには看護師免許を取得し5年以上の実務経験があること。さらに、うち3年以上は認定看護分野で経験を積んでいることが条件であり、6か月の教育期間を終了し、認定審査に合格すると認められます。5年ごとに更新を行わなくてはなりません。看護協会以外にも各専門分野において学会認定の資格もあります。

今回は、「学会認定 臨床輸血看護師」の紹介をさせていただきます。

看護部 看護副部長 山崎 芳江

前職場で輸血療法に携わることが多いこと、以前より輸血療法に興味がありましたので、平成27年「学会認定・臨床輸血看護師」の資格を取得いたしました。

輸血療法とは血液成分の不足を補う治療法です。「他人からの血液を輸血することは、血液を臓器の一つと考え、もっとも頻繁に行われている臓器移植」と、言えます。そのため、様々な副作用や合併症を伴いやすく、輸血療法を行うには深い知識と的確な判断力が要求されます。

特に患者さまに最も近いところで輸血に関与する看護師には、輸血に関する正しい知識と的確な看護能力が求められています。医師、臨床検査技師、そして看護師が一体となることで輸血の安全性が飛躍的に向上することが期待されます。現在、全国には828名、千葉県には23名の臨床輸血看護師が資格を取得し活躍しております。



今後、立ち上がる千葉県臨床輸血看護師会のメンバーとして、当施設だけではなく千葉県内で県赤十字社と協力活動を行っております。皆様より安全な輸血療法を受けることができますように私たち認定看護師は切磋琢磨し活動していきたいと努力いたします。

学会認定・臨床輸血看護師 草刈 真由美

塩田記念病院無料送迎車 時刻表

茂原駅発		病院 着		病院 発		茂原駅着
09:05	⇒	09:25		10:30	⇒	10:50
10:55	⇒	11:15		11:40	⇒	12:00
12:05	⇒	12:25		13:20	⇒	13:40
13:40	⇒	14:00		14:50	⇒	15:10
15:10	⇒	15:30		16:00	⇒	16:20

※茂原駅よりご利用の際は、南口バスロータリーからご乗車ください。

※土・日・祝日は運休とさせていただきます。また、諸般の都合により遅延や運休とさせて頂く場合がございます。予めご了承ください。